

季節はもう夏本番。毎日暑い日が続きますが、しっかり水分補給をして熱中症に気を付けてください。今月の「シリーズ 図書館でめぐる郷土」のテーマは八尾空港です。八尾市には、甲子園球場約 17 個分の面積を持つ八尾空港があります。関西圏の一般航空（軍事航空と定期航空を除いた航空の総称）の拠点として利用されています。その歴史とともにご紹介します。

シリーズ 図書館でめぐる郷土

第十八回 『八尾空港』

八尾空港は、八尾市の南側に位置し 1,490mと 1,200mの 2 本の交差する滑走路を持つ地方空港です。国内で交差滑走路を持つ空港は少なく、八尾空港のほかには東京国際空港と新潟空港、仙台空港のみです。八尾空港には大阪府中部広域防災拠点や陸上自衛隊駐屯地が隣接し、災害発生時の援助基地としての役割を担っています。その八尾空港の始まりがパイロット養成のための学校だったとご存じでしたか？

昭和 13 年(1938 年)、民間のパイロット養成学校である「阪神飛行学校」が設立され、そこに東西 810m、南北 525mの小さな滑走路が併設されました。しかし第二次世界大戦が始まり、昭和 15 年(1940 年)に阪神飛行学校は閉校、「大正飛行場」に改称され、敷地は大日本帝国陸軍に接收されます。昭和 16 年(1941 年)には陸軍によって面積が甲子園球場 70 個分に相当する広さまで拡大され、戦闘機や輸送機、爆撃機が発着可能な軍用飛行場と姿を変えました。やがて本土決戦に備え、大正飛行場は近畿圏を含む本土内 3 分の 1 の地域の防空戦闘を指揮する第 11 飛行師団司令部本部が置かれ、敵機を迎撃するための飛行第 246 戦隊が配置されました。当時は戦闘機 50 機、乗組員・整備兵など 500 名が所属していました。

戦中の大正飛行場に関する遺跡として、垣内地区には掩体壕が残っています。掩体壕とは、上空の爆撃から軍用飛行機を守るための強い屋根を持った格納庫のことです。昭和 19 年(1944 年)の春以降、大正飛行場内に 19 基、場外の高安山麓に 20 数基建設されました。壕の屋根上に土を盛り、草木を生やして小山風の偽装をしましたが、米軍にすぐに探知され攻撃の的となりました。

終戦後、飛行場は「阪神飛行場」と改称され、GHQ に接收されます。そして昭和 29 年(1954 年)日本へ全面返還され、昭和 36 年(1961 年)に空港整備法により第 2 種空港の指定を受け、「八尾空港」という名前になりました。現在は、国土交通省管轄の下で管理運営されています。消防や警察のほか物資輸送や航空写真撮影、航空調査測量、遊覧飛行を行う民間航空会社の機体が多数あり、約 180 機のセスナ機やヘリコプターが常駐しています。またパイロットを養成するための学科教育や訓練飛行も行われ、年間の発着回数は約 1 万 2 千～3 千回にもなります。旅客定期便運用はしていませんが、関西の国際空港では対応していない航空需要に応じており、長きにわたり、航空業界を支えてきた八尾空港は日本の空になくてはならない存在です。



【右写真】八尾空港 航空写真進入方向
(八尾市観光データベースより)

参考資料

『Yaomania Vol.29 冬号』2020年1月

『陸軍大正飛行場』2018年3月 河内の戦争遺跡を語る会

『小型機のおアシス 八尾空港へようこそ』2006年 大阪航空局 八尾空港事務所

八尾市観光協会データベース <http://www.yaomania.jp/data/index.asp>

7月のTopics&Information



-Topics

祝！龍華図書館5周年



2015年8月2日にオープンした龍華図書館は、今年で5周年を迎えます。オープニングイベントでは香川元太郎さんの迷路絵本の原画展や、糸電話を使ったストリングラフィコンサートを開催し、オープン日は4500人を超える方が来館されました。

2016年には龍華図書館マスコットキャラクターの「りゅうと」が誕生。2016年度の図書館総合展「図書館キャラクター・グランプリ」でキハラ賞を受賞しました。

2018年、デジタルアーカイブシステム ADEAC(アデアック)を公開。「今東光の『小説 河内風土記』を歩く—河内山本・天台院周辺 MAP—」を閲覧していただけるようになりました。

そして2019年にはついに来館者人数が100万人を達成。記念セレモニーを行いました。

2020年は、いよいよ5周年。今年は3月からコロナウイルスにより休館となり、現在も一部サービスのみ再開となっています。まだまだ厳しい状況が続いていますが、皆さまの生活に寄り添い、親しんでもらえる図書館を目指してまいりますので、これからも龍華図書館をよろしく願います。

-Information 図書館のご案内

個性派文学賞「メフィスト賞」

メフィスト賞を知っていますか？メフィスト賞とは、講談社が発行する文芸雑誌『メフィスト』から生まれた公募文学新人賞で、編集者が直接作品を読んで選考を行うことなどが特徴です。既存のジャンルで分類できないほど個性的な作品が集まるため、受賞作家は「メフィスト賞作家」と呼ばれることもあります。第61回の受賞者は真下みことさん。受賞作の『#柚莉愛とかくれんぼ』は、「アイドル」「SNSの炎上」などリアルな問題を扱いながら、しっかりとしたエンタメ作品になっています。アイドルやミステリに興味のない人も、是非一度読んでみてください。



『#柚莉愛とかくれんぼ』

(資料コード:710675042)

真下みこと/著

アイドルグループ「となりの☆SISTERs」。僕の推しの青山柚莉愛が動画生配信中に血を吐いて倒れた。でもドッキリだったってネタばらしが…。本気で心配した僕を馬鹿にしやがって。SNSで柚莉愛を壊してやる！【TRCマークより】

今月の一冊はコレ!



「野口真紀の わたしの好きなトマト料理」

(資料コード:710657644)

著：野口真紀 / 出版：誠文堂新光社



季節は夏真っ盛り。毎日暑くて食欲も減退…なんて人も多いのでは。そんな時におすすめなのが「トマト料理」。生食はもちろん、加熱しても美味しく食べられます。炒めるとギュッと濃縮されたパンチの効いた味になり、煮込むとまろやかな味わいに。さらにトマトには健康に良い成分がたくさん！リコピンやビタミンCが豊富で、アンチエイジングや皮膚の健康を助けてくれます。美白効果もあり、この時期にぴったりの食材です。ぜひ、お気に入りのトマト料理を見つけてくださいね。

編集・発行 八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45
TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057
ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね！してください。

